

2024 年度「企業訪問&OBOG 座談会ツアー」開催報告 ②

GGG では、下記の要領で「企業訪問&OBOG 座談会ツアー」を開催しましたので、ご報告致します。

■日時 令和6年9月6日(金) 14:00~16:00

■訪問企業 篠崎運輸株式会社

実施場所: 本社 埼玉県さいたま市大宮区吉敷町 1-109-6

■参加者内訳

参加学生数: 6名 【国別内訳】 中国2名、マレーシア1名、ベトナム1名、日本2名(奨学生)

先輩外国人社員: 2名 2019年入社、ネパール出身、通訳翻訳業務、サブリーダー

■タイムスケジュール

14:00 会社説明会

質疑応答

先輩社員の紹介

15:00 先輩社員との座談会

人事部の方々との名刺交換

16:00 終了

■座談会内容

【主な質疑応答】

Q: なぜ日本で働こうと思いましたか?

A: 日本人は、時間やルールをきちんと守るので働きやすいと思った。

日本の文化が好きだから。

Q: 日本で生活することへの家族の反応は?

A: 日本は、安心安全な国として理解しているため、賛成でした。

Q: 日本語に対する不安はありましたか?

A: ビジネス日本語、尊敬語、丁寧語や電話のやり取りは学校では習わないので、入社してから苦労しました。

日本語のイントネーションが難しく、相手とのコミュニケーションが取りづらかった。漢字もあるので苦労した。

Q: 人間関係の不安はありましたか?

A: 不安はありましたが、自分から声をかけるようにした。仕事をするためにこの会社に入ったので、仕事がしやすいように

コミュニケーションを大切にすることで人間関係を良くした。

Q: 母国と日本の文化や生活習慣の違いは何ですか?

A: ネパールは時間的なルールはあまりなく、日本はあらゆるルールがきちっとしていると思った。

来日当初は、日本の食事があわなかった。(お茶や海苔が臭く感じた) ネパールには冷たいお茶はなく、日本ほど種類がない。

Q: 将来の夢はなんですか?

A: 母国で日本人向けの観光ガイドの会社と物流会社を設立したい。

母国では、『物流』と言う概念がないため、物流の会社を設立したい。

Q: 日本の文化や言葉に興味を持ったきっかけは何ですか?

A: 日本は、規則がきちっとして、食事のマナーやルールを守っている国だと思い興味を持った。

Q: 日本語学校に2年間通っている時は、どれくらい日本語が話せましたか?

A：N3は持っていましたが、その後、N2を取ったけれど、ビジネス日本語などビジネスで必要な日本語や丁寧語などは会社の研修で習いました。

Q：尊敬語などは最初から使えましたか？

A：最初はできなかつたけど、研修で学びました。実際の仕事でお客様と話す場面を見て学びました。

Q：何語が話せますか？

A：ネパール語、日本語、英語、ヒンディー語です。

■実施後の参加学生向けアンケート結果

- ・「このイベントに参加を決めた理由」については、「日本で就職したいと考えているから」「訪問企業に興味があったから」「先輩の話を知りたかったから」などの回答でした。
- ・参加後の感想は全員が「とても役に立った」と回答しており、その理由としては、「先輩から実際の職場の話を知り、日本の職場のことがもっとわかるようになりました」「実際の就職後のイメージが沸いた」などで、先輩社員との座談会はとても好評でした。「自分も就職したら、先輩のようにリーダーをめざしてがんばりたい」などの感想もあり、先輩社員の姿が一つのモデルケースとしてたいへん印象深かったようです。
- ・また、外国人学生は全員がこの企業に「応募したい」「応募を検討したい」と答えており、実際にこのイベントから応募につながっています。

【会社説明会】



【人事部の方々と名刺交換を体験】



【先輩社員との座談会】

